

もっと便利な和歌山バスがほしい!

崔 恩智
(教育学部 日本語・日本文化研修留学生) (韓国)

和歌山に着てからほぼ1年が過ぎた。その1年の生活の中で一番不便だったのは交通、特にバスであった。もちろん、ほとんどのバスが定刻に来ることや速度を守りながら安全運行することは見習うべき点だと思っているが、それに比べて短所が目立っている。和歌山バスの問題点と、一番いい解決策だとは言い切れないが自分なりに解決策を考えてみたので、参考になればうれしいと思う。

● 問題点 1

和歌山バスは最終バスの時間があまりにも早すぎる。和歌山市内を運行するバスは、早ければ午後6時になくなるバスもあるし、最も遅いバスだとしても11時前にはすべて運行を終了する。和歌山大学の場合は10時20分のバスが市内に行く最後のバスである。大学生である我々に10時という時間はそんなに遅い時間ではない。例えば、試験期間の場合は学校図書館で勉強している時間だし、友達と遊ぶ場合にはまだまだ遊んでいる時間である。バスを利用している学生は終バスに間に合うために、勉強も遊びも途中で止めるしかないのだ。特に和歌山大学の場合はタクシーもあまりないため、バスの時間を守るしかない。したがって、11時半~12時までバスを運行してほしい。

● 問題点 2

和歌山は交通費が高いうえ、学生割引もできないし、ただで乗り換えもできないため、学生である我々には交通費のプレッシャーが最も高い。会館に住んでいる外国人学生のほとんどは交通費を節約するために、会館から学校まで、自転車ではぼ一時間かかって行っている。残りの学生も、一応南海市駅や市役所まで自転車で行ってからバスに乗り換える。もし雨が降る日には自転車に乗れないので、会館から学校まで往復1200円のバス料金がかかってしまう。いくら日本の物価が高いと言っても、1日でこの値段は度が過ぎる。特に定期券を買うとしてもそれほど割引になることでもない。例えば、小人町から学校まで(私が利用するバス路線)の1日往復料金が660円で、定期券の場合は月約12000円で存分にバスに乗れる。もし18日以上学校に行くなら定期券を買う方が得である。しかし、一月(=30日)の中で8~10日は週末であり、もし休日でもある月だったら、定期券を買っても損であるのだ。結局、これといった利得なく、高い交通費を全部払わなければならないのだ。

バス料金自体を下げることはバス会社にもいろいろと問題になると思うので、その代わりに学生割引があったらほしい。例えば、既存料金の70%を学生料金(3割引)と定め、定期券を購入する場合にも学生の割引された値段で購入できるようにするのだ。

● 問題点 3

バスの路線図が複雑である。和歌山バスは路線によってバス番号の色が異なっているが、同じ色にもかかわらず行く先が違うバスがある。また、バス停には時刻表と各バスの終点だけ書かれており、色だけでは自分が行きたい場所まで行くかどうかを正確に把握できない。実際に、南海和歌山市駅で日本人にバス路線について質問されたこともある。外国人だけではなく、日本人にも和歌山バスの路線図が見にくいことである。

韓国の場合、バス停ごとに各バスの路線が詳しく書かれており、ほとんどのバス停にはこのような画面が設置されている。この画面を通じていつバスが着くか、今バスがどの停留所を通過しているかが分かる。さらに、下にあるボタンを押すことにより、自分が知りたいバスの路線を確認できる。和歌山も、少なくとも駅前や人口移動が多いところにあるバス停に、このようなものを設置してほしい。また、各バス停に詳しくて見やすい路線図があってほしい。

このような問題点に気づいてそれを直していけば、より便利な和歌山バスになるのではないだろうか。

